ホームページ公開用

第一回　美波町総合計画審議会議事録（概要版）

日時：平成19年9月4日（火）１４：００～１６：２０
場所：美波町役場２階　会議室

参加者：会　長　澤田　俊明（有識者・工学博士、元徳島大学非常勤講師）
副会長　猪龍　俊明（美波町町内会連合会）
委　員　四宮　治義（美波町町内会連合会）
委　員　川西　伸枝（美波町婦人会）
委　員　小山　　保（美波町老人クラブ連合会）
委　員　徳永　　聰（美波町観光協会）
委　員　和佐　善夫（日和佐商工会）
委　員　本田　伍平（由岐商工会）
委　員　瀧本　達也（ＪＡかいふ日和佐支所）
委　員　口船　敏昭（美波町ＰＴＡ連合会）
委　員　谷口　右也（徳島県南部総合県民局市町村支援担当）
委　員　新矢　公宏（美波町議会）
委　員　江本　　昇（美波町議会　総務産業建設常任委員会）
藤井町長、中東副町長、濱支所長
【事務局】総務企画課　影治課長、礒野課長補佐、前野係長
㈱ｴｲﾄｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ　松澤、瀬部
欠席者：委　員　吉野　清（海部上灘漁業振興会）
委　員　張西　政晴（美波町体育協会）

１．開　会（事務局）

２．町長あいさつ

・総合計画は、町の将来を見据え、人口が減少する中、町のデザインをし、住民に応えていく将来の町づくりの基本となる指針です。
・県の審議会において「人口が１万人未満の市町村は再度合併する必要があるのでは」という議論がありましたが、パブリックコメントや市町村へのヒアリングの結果、「当面は現行のままで良い」となり、知事による「１万人未満なので再度合併しなさい」との勧告には至りませんでした。
・今日までに５，０００通を超えるアンケートを実施し、町民の意向把握をしております。
・本町の将来については、課題は多いのですが、『小さくても存在感のあるまちづくり』

を目指したいと考えます。
・１０年先は「道州制」の議論もあり、どうなるかよく分からない点もありますが、現行の政治を進めながら時代の変化に対応したやり方が良いと思います。『先を見誤らない持続可能な地域づくり』をしたいと考えます。

３．委員紹介
・事務局から所属団体及び氏名の紹介

４．美波町総合計画審議会の運営について
・美波町総合計画審議会要綱の説明

５．会長・副会長の選出
・澤田会長選出、猪龍副会長選出（満場一致）
・澤田会長挨拶、猪龍副会長挨拶

６．諮問書の提出
・藤井町長から澤田会長に諮問（諮問文を朗読、手渡し）

７．審　議
・事務局より「総合計画の概要」「総合計画審議会の位置づけ」「町民意識からみた意向（アンケート調査結果報告）」「データーにみる本町の位置づけ（現状分析結果報告）」「基本構想（案）について」について説明があった。

ーーーーー質　　疑ーーーーー

（会長）
・次の様な点について審議をお願いしたい。今日は初回なので、後日文書でも意見を頂きたい。
①計画の項目に抜け落ちはないか？
②どういう処に重点を置くか。
特に本日お願いしたいのは
①今言っておかないといけないと思っていること。
②資料についての疑問点。
③是非、加えておきたい項目。
等について順番にご発言を頂きたい。
（委員）

・データが専門的すぎて理解しづらい。
・「基本構想案」の「 まちづくりの基本方針」については具体性がない。細かく示して欲しい。
（事務局）
・本日は基本構想（案）を見ていただいている。具体的な対策は基本計画段階の審議で示します。
（委員）
・子供のことよりも高齢者のことを重視してもらいたい。
（委員）
・高齢者社会への対応について、美波町は恵まれていて、ありがたく思っている。
・南海、東南海地震の対策も大事と思う。
・日和佐の防潮堤（大浜海岸）を補強して欲しい。総合計画の中に入れてしかるべき措置を取って欲しい。
(委員）
・高齢者対策、地震対策を十分考えて下さい。
（委員）
・美波町の魅力は環境の良いことであるが、「自然環境の豊かさ」というフレーズだけでなく、具体的に書いていくことが重要ではないか。
（委員）
・「基本構想（案）」は具体性に乏しい。次回具体的な資料が出てくるのか？
・問題提起として、「空家対策」が重要である。「日和佐高校の跡地問題」までいくのか？
・優先順位としては「商工業の振興」を一番に取り上げて頂きたい。
（委員）
・自然環境を活かした施策を行う。退職者等に「空家」を利用して美波町に来てもらってはどうか。
・医療の充実が必要である。
（委員）
・農業は後継者不足で、地域コミュニティが壊れてしまう。
・家族で農業が活かせる体制作り、併せて環境に優しい農業施策を実施して欲しい。
・有機農法推進法を尊重する農業が必要である。
（委員）
・少子化対策に力を入れて欲しい。
・通学時の安全では不審者に備える施策を実施して欲しい。現在、下校時は高齢者の力添えをいただいている。
（委員）

・ 行政でやるものと、町内会といったグループでやる「手作りのまちづくり」もある。
・医者が少なく困っている。町民が困っている医療対策を実施して欲しい。
・「災害に強い町づくり」を考えて欲しい。
・この実現のためには、「町内会のグループでやることへの支援」と「行政がやらないといけないもの」との二つに分けてやる必要がある。町内会への支援をお願いします。
・手作りの町起こしを町内会が中心になってやっていく。このことを行政の計画にしっかり捉えて町民に打ち出すべきである。
・この総合計画では「夢が持てる構想」を示して欲しい。

（委員）

・アンケートは７０～６０才が半数以上入っている。若い人（将来の町を背負う人）のアンケート結果も考えて欲しい。５０才未満の意見を提示して欲しい。

（委員）

・もともと海部郡は漁業の町です。「自然環境」を残したい。海の資源利用を図って欲しい。
・牟岐～阿南（千羽海岸）は日本一の海岸です。「海亀」のこともっと知って欲しい。
・「空き屋」対策を美波町でも出来ないものか？

（会長）

・金をかけず、良いものを！そして金が落ちるものを！
・愛媛県八幡浜の海岸沿いでは朝市が月に一度あり、随分お金が落ちている。徳島県の海岸沿いには朝市が無い。参考にして欲しい。
・まちづくり、担い手づくりとして、平成１９年２月４日に「人づくりをしよう」という閣議決定がなされた。
・平成１８年４月と平成１９年４月に規制緩和が行われ、行政の持っている土地・建物の活用が行えるようになった。また、川の規制緩和として太田川（広島）では河川敷にカフェテラスを設置したり、道頓堀（大阪）でも川辺の活用を行っている。

（委員）

・南海地震が起こるとされている。災害対策、防災に力を入れて欲しい。
・空家対策もお願いしたい。
・しかし、なんでも公助ではいけい。

（委員）

・現状から理想を示すためには、課題の盛り付けが必要である。基本構想（案）全体の校正がわかりづらいため、工夫が必要である。

（会長）

・Ｐ２７～２８への流れについて、文言を含め工夫して欲しい。

（町長）

・徳島県には、剣山と渦潮しか観光資源がないとよく言われる。しかし、そこに住んでい

る人のふるまいや活用で町は目立つ。防災のことで美波町へ行ってみたい、空家の件で美波町へ行ってみたいでよい。総合百貨店、美波町株式会社という発想がよい。

・５年の期間であるが、具体的な計画としたい。『小さくても存在感のあるまちづくり』を行いたい。

（会長）

・総合計画を絵にかいたもちではなく、食べられるもちにしたい。

・本日は貴重なご意見有り難うございました。次回期日については１１月上旬を予定しています。

８．閉　会（事務局）